

研修名 乳児保育・教育

平成29年9月27日(水) 13:30~16:00

講演 「乳児の発達に応じた保育内容」

講師 京都文教短期大学 張 貞京 氏

1 講演要旨

- 1) 発達をどのように理解するのか
- 2) 発達との付き合い方
- 3) 誕生から
- 4) 乳児期前半：4か月
- 5) 乳児期後半：6~9か月ごろ
- 6) 乳児期後半：10か月ごろ～
- 7) 乳児期の保育内容
- 8) 乳児期の留意点
- 9) 保護者との関係について
- 10) 1歳代の発達
- 11) 1歳前半(〇〇だ!)
- 12) 1歳半ごろ
- 13) 1歳後半
- 14) 1歳代の保育内容
- 15) 1歳代の留意点
- 16) 保護者との関係について
- 17) 2, 3歳代の発達
- 18) 2歳代の特徴
- 19) 2歳前半
- 20) 2歳後半
- 21) 3歳代の特徴
- 22) 3歳前半
- 23) 2, 3歳代の保育内容
- 24) 2, 3歳代の留意点
- 25) 3歳ごろに見られる喧嘩
- 26) 保護者との関係について

2 感想

今回の講演を聞く中で、私の一番印象に残った言葉は「発達を見る目、働きかける手は、磨き続けないと鈍る」という言葉です。保育、教育の現場で勤め始め、20年ほどが経ち、日々の保育にも慣れ、子どもの行動を予測する事ができるようになってきた今だからこそ、グサッと刺さる一言でした。自分では、理解しているつもりになっていたものの、高いところを求めていたのかな？と反省したり、発達を改めて知ることで、『手がかかる子ども』と思いがちだった子どもの行動も年齢に即したきれいな発達を見せているのだなと感じたりし、日々の保育の中で、どう対処していったら良いかといったところの参考にもなりました。これからも続く、保育士生活の中で、しっかりとした発達を見る目、働きかける手を磨きながら子どもたちの生活が充実したものになるようにしていきたいと思います。

(記録 与謝野町立山田保育所 加畑志保)

